

夕張市地域公共交通協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

夕張市は、北海道のほぼ中央、空知地方の南部に位置し、東西約25キロ、南北約35キロ、面積約760平方キロメートル、人口約8,100名の街であり、面積の約9割を森林が占めている。

夕張市内を運行する路線バスは、当市の人口減少を主因と思われる利用者数減、それとあいまっての運行事業者の乗務員数減もあり、運行路線数、運行本数の減少が続き、各路線とも採算は厳しい状況である。

当市は、産炭を主要産業として発展した経緯等から、川筋に存在した各坑口を中心とし広い地域に集落が点在するという特徴があり、それらを結ぶ路線バスは、「夕張市まちづくりマスタープラン」に都市骨格軸として位置付けた南北軸(紅葉山地区～本庁地区)を幹として、南北軸上にない他の地区(郊外地区)とを結ぶ路線が枝となる体系となってきた。

しかしながら、南北軸と郊外地区を結ぶフィーダー一部については、路線バスが廃止されたことから、同区間におけるデマンド交通の運行を行い、地域住民の移動ニーズに応え、生活利便性の維持向上を図っていく。

生活交通確保維持改善計画の目標

運行率目標 30%(デマンド南部線、デマンド真谷地線)

平成30年度事業概要

デマンド南部線

- ・運行事業者:丸北ハイヤー有限会社
- ・区間:清水沢～南部
- ・運行日、便数:毎日、7便/日(南部行4便、清水沢行3便)
- ・運賃:200円

デマンド真谷地線

- ・運行事業者:丸北ハイヤー有限会社
- ・区間:清水沢～真谷地
- ・運行日、便数:毎日、6便/日(真谷地行3便、清水沢行3便)
- ・運賃:200円

地域公共交通の現況

<鉄道>

- ・JR石勝線(滝ノ上駅、新夕張駅)
- ・JR石勝線(夕張支線)
(新夕張駅～夕張駅:計6駅)

<路線バス・デマンド交通>

- ・夕張鉄道(株)(市内4路線)
- ・北海道中央バス(株)(市内2路線)
- ・デマンド交通(2路線) 【H30.10.1現在】

協議会開催状況

平成30年2月20日

平成29年度 第2回 夕張市地域公共交通協議会
デマンド交通利用実績報告及び乗降車地拡大について

平成30年6月15日

平成30年度 第1回 夕張市地域公共交通協議会(書面開催)
平成31年度夕張市生活交通確保維持改善事業計画について

平成31年1月24日

平成30年度 第2回 夕張市地域公共交通協議会
平成30年度「平成30補助年度 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統 確保維持計画)」に関する「地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価」について

平成30年度事業の実施状況

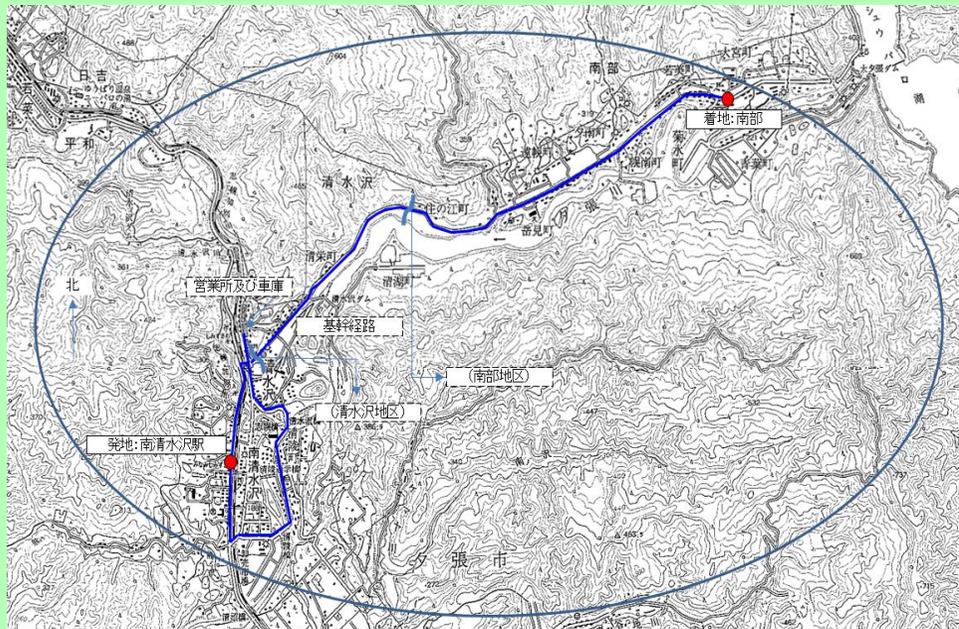
1) プロセス、創意工夫

- ・平成29年10月1日よりデマンド真谷地線の運行を開始
- ・利用者意見及び利便性を斟酌し、デマンド真谷地線において平成30年4月1日より沼ノ沢地区における乗降を可能とした（清水沢地区～沼ノ沢地区のみの利用は不可）

2) 運行系統

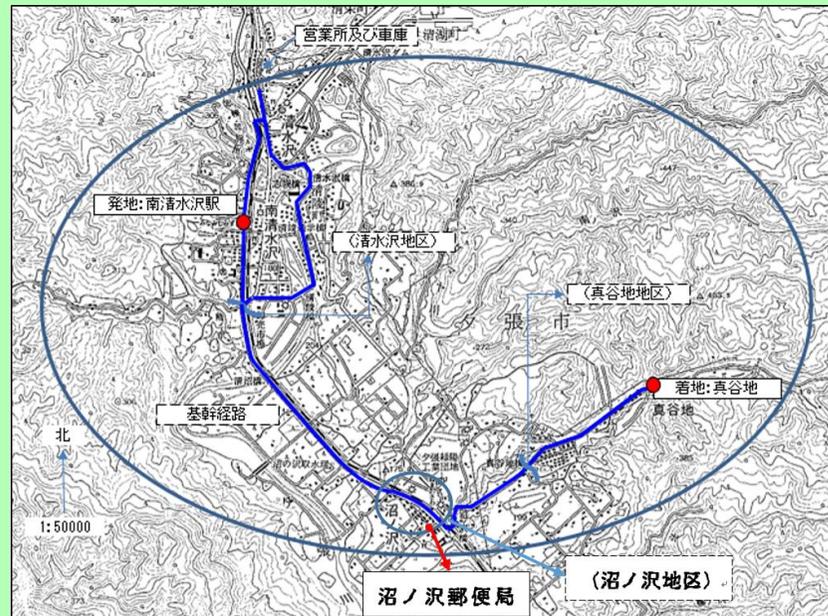
○ デマンド南部線

南清水沢～南部

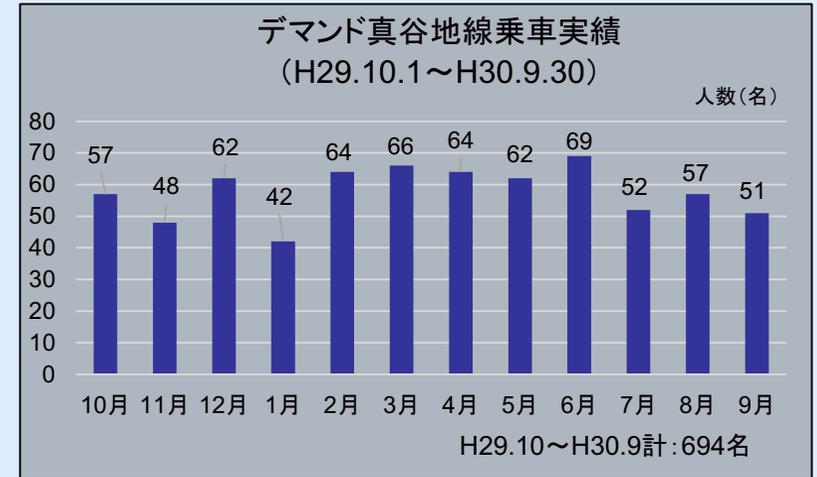
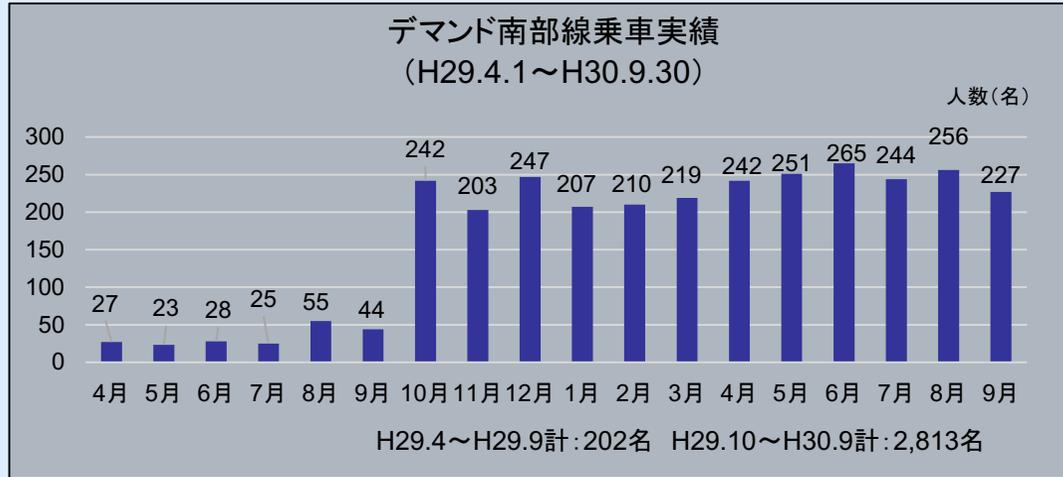


○ デマンド真谷地線

南清水沢～真谷地

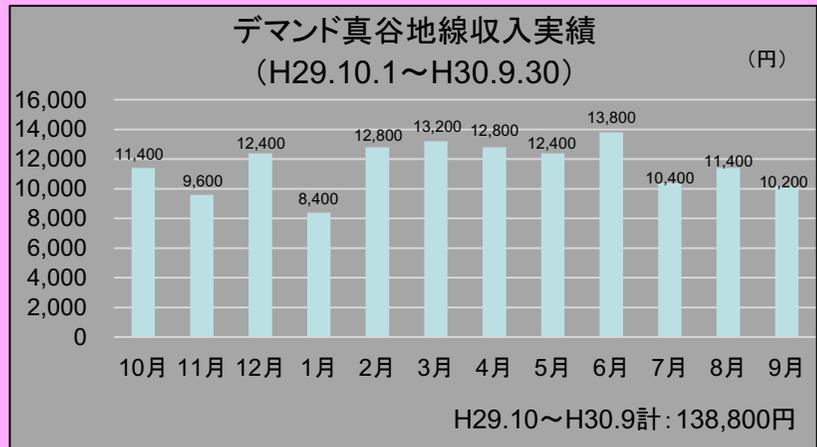
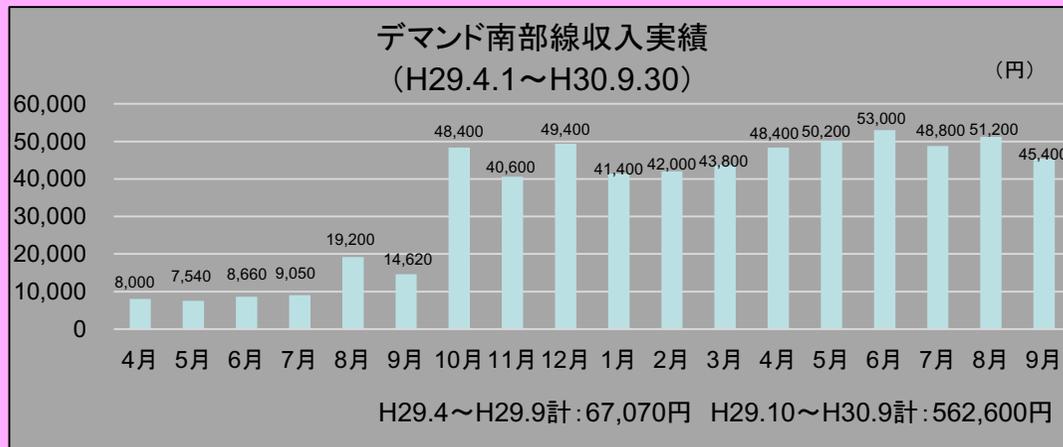


3) 利用実績



※デマンド真谷地線は、平成29年10月運行開始

4) 収入実績



※デマンド真谷地線は、平成29年10月運行開始

5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

デマンド真谷地線における運行開始後に確認された利用者のニーズを勘案し乗降車地区の拡大を行った経過からも、日々の利用の中で利用者から新たなニーズが生じる可能性があるため、引き続き把握に努める。

6) 目標・効果達成状況

計画運行回数に対し、運行率がデマンド南部線が189%、デマンド真谷地線が76%とそれぞれ目標値(30%)を上回った。

8) 地方運輸局における二次評価結果(案)